

地方独立行政法人静岡市立静岡病院評価委員会視察概要

1 日時 平成27年3月24日（火） 午後1時～3時

2 会場 市立堺病院3階「大会議室」

3 出席者

(1) 地方独立行政法人堺市立病院機構

理事長、理事・法人本部長、
市立堺病院院長、
市立堺病院事務局長・法人本部新病院移転
準備推進担当部長 他

(2) 堺市

堺市健康福祉局健康部
副理事兼健康医療推進課長 他



(3) 地方独立行政法人静岡市立静岡病院
評価委員会

委員長、青木委員

(4) 静岡市病院局

① 病院局

病院局長、
病院経営課新経営形態準備担当課長 他

② 静岡病院

病院長（理事長予定者）、事務局長

4 内容概要

○ 説明概要

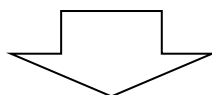
(1) 地方独立行政法人移行前

【課題】

累積欠損金等の解消問題、医療制度改革など環境の変化への対応、医師・看護師など医療スタッフの確保等

【課題解決のアプローチ】

「ヒト」・「モノ」・「カネ」を効率的、効果的、柔軟に活用できる経営形態への移行



地方独立行政法人への移行

(2) 地方独立行政法人堺市立病院機構 中期目標

<主な目標>

- ① 救急医療などの政策医療の安定的な提供と充実
- ② がんをはじめとした高度専門医療の充実
- ③ 経常収支黒字の達成

(3) 取組み状況<平成25年度>(抄)

- ① 「救急救命センター開設(新病院)」に向けた体制整備等
救急センター・病床管理センターの開設。医療職増。重症患者受入増 等
- ② 高度で専門性の高い医療の提供
「地域がん診療連携拠点病院」指定、がん入院患者数増、総手術件数増 等
- ③ 人員、部門体制強化
専門医採用(救急医・脳外科医等)、事務部門強化(市派遣職員から法人職員への切り替え。職務経験者の採用) 等
- ④ 収入確保、費用節減
重症患者の増加等による診療単価増や施設基準取得等による収入確保、後発医薬品採用拡大等による費用の節減 → 経常収支黒字達成

(4) 独法移行による意識の変化

【意識改革スローガン】

「まず自分から変わろう 笑顔であいさつ」、「まず実践、口動から行動へ」 等

【経営幹部の意識の変化】

自立した経営を行っていく経営幹部としての自覚

- ・まずは行動し、うまくいかなければ仕切りなおす → 経営者として責任ある迅速な判断・対応

【部門の長や職員の意識の変化】

- ・各部門の長の目標達成意識が向上
- ・職員の経営的参画意識が醸成される(ボトムアップ提案:業務改善、予算施策提案等) → 成功を認め、讃える



※ 質疑応答(抄)

問 貴院は、民間病院に囲まれている中で、公的病院としての役割をどのように考えていますか。

答 各病院がそれぞれの立ち位置・特徴を考えながら医療を提供しています。救急や「がん」対応などが本院の役割と考えています。

問 人材の育成をどのように行っていますか。

答 リーダーにしっかりとした人を置いて行う必要があります。また、本院では採用してから3年目の職員が2年目の職員を、2年目の職員が1年目の職員を指導するようにしています。



問 病院では、職員、ボランティア、業者と様々な人たちが従事しており、時に見分けがつかない時もありますがどのように従事者を管理していますか。

答 服装で従事者の見分けがつくようにしています。また、職員、清掃・売店業者等で「運営者会議」を2か月に1回開催して情報共有と意見交換を行い、改善につなげています。

